京城新報

●購讀料 ▲一部二錢 ▲一ヶ月前金五十錢 ▲三ヶ月 ▲六ヶ月 ▲一ヶ年
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢

●陰暦 二月廿三日

發行兼編輯人 印刷人 山下□晴
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

石塚英藏君

鷹葉生

名物は美味なるものと限られたり。此れ名物即ち美味さが故にはあらで其美味さを傳ふ人の實際以上に其美味さを吹聽するが爲也。吾人も其美味さを噂に聞きて、未だ其物を味ひ得ざりしものゝ、一たび之れを味ひ得る機會に逢着するや、傳者の言を想像し、其美味、頰、三千里外に飛び去る程なるべしと想像し、恰も箸を下して味へば、普通の物也、然れども此れを美味と云はざらむには、或は食ふて味を知らざるものと嘲られやせむと、自ら紿いて頗る美味なる哉など、傳者又此の轍を踏みて曰く、眞に天下の美味なる哉と、繼ぐ又然り、斯くして名物は其眞價以上に其美味を吹聽せられ、遂に美味きものと限らるに至る。

臺灣の始は蕃名に至りて名物となり、後藤新平氏は臺灣に至りて名物となりにき、蕃名の總督は蕃名に於て食ふことを奪けれ之れを京城に持ち來らば何むの美味ぞ、臺灣の名物後藤男爵は臺灣に置きてこそよけれ、然るを何等の痴漢か之れを滿洲に拉し去り普通の物と化し去らむとしつゝあり、之れ此の臺灣名物も、遂に御多分に洩れ得ずして其眞價以上に美味を傳へられたるが爲めならざるなからむや、

翻て、石塚長官代理は臺灣と滿洲とに於て準名物なりき、臺灣と滿洲とに於て準名物の資格ありしとて、韓國に持つて來て直ちに準名物の資格ありしと思惟せしものあらば過也。獅子は萬獸の王たり然ども之れを海洋に放たば奈何、石塚君は總督旗の下に準名物たりしなり、統監旗の下に於ては如何あるべき覺束なき限り也。

後藤君と民政の得失を論爭して譲る所なかりしが故に、石塚君は正理の前自信の上には何人とも論爭して假藉する所なき剛骨の士なりとなすものあらば非也、不幸にして吾人は未だ石塚君が侃々の議諤々の論を以て上長に進言したるあるを聞かず、失政多き藤公の施設決して言を容るゝの餘地なしと云ふべからず、然るに之れなし、要するに對手の聲威に怯ぢたるが爲めにあらざるなき乎。敵手を見て文句を云ふ、紳士の事にあらず、吾人は之れに與せず。

日本の名物伊藤公すらも韓國にては味噌を付けつゝあり、滿、臺兩地に於ての準名物石塚君が味噌を付けむとしつゝある位のことは當然なり、而して之れ石塚君自身の罪にはあらず、實に眞價以上に其美味を吹聽したる傳者の罪なりとす。

記者足下
名物に美味いものなしとの言は、通般の消息を喝破したるものにあらざるなき乎。

●東洋拓殖會社法案（續）

第十二條　東洋拓殖株式會社は拓殖上必要なりと認むるときは政府の認可を受け韓國にいて左の附帶事業を營むことを得
一、水產業
二、鑛業
三、農水產物を原料とする製造業
四、其他拓殖上必要なりと認むる事業

第十三條　第九號の資金供給は左の方法に依つて之を行ふべし
一、日韓移住民に對し廿五年以內の年賦償還の方法に依る移住費の貸付
二、移住民及韓國農業者に對し十五年以內の年賦償還の方法に依り韓國に於ける不動產を擔保とする貸付
三、移住民及韓國農業者に對し五年以內の定期償還の方法に依り韓國にれける不動產を擔保とする貸付
四、移住民及び韓國農業者に對し其製產又は獲得したる物品を擔保とする貸付
五、韓國にれける不動產を擔保とする三年以內の經營償還の方法に依る貸付

第十四條　第一項第二項乃至第五項の貸付金總額は拂込資本額及び社債未償還額の合計五分の一を超ゆる事を得ず

（第十四條以下第二十條までは貸付償還の方法を規定せり）

第二十一條　營業上の餘裕金は一時國庫債證券を買入れ又は政府の指定したる銀行に預金をなすの外之を使用する事を得ず

第二十二條　東洋拓殖會社は營業上必要なる時は政府の認可を得て借入金をなす事を得

第四章　東洋拓殖債券

第二十三條　東洋拓殖株式會社は拂込資本額の十倍を限り東洋拓殖債券を發行する事を得

東洋拓殖債券を發行する場合は商法第百九十九條の規定を適用せず

第二十八條　東洋拓殖株式會社は社債借換のため一時第二十三條の制限に依らず東洋拓殖債券を發行する事を得其場合には發行後一箇月以內に其社債總額に相當する東洋拓殖株式會社債券を償還すべし

（以下債券に關する規定あり之を略す）

第六章　政府の監督及補給

第三十二條　政府は東洋拓殖株式會社業務を監督す

（以下監督方法を規定しあり）

第三十九條　政府は東洋拓殖株式會社に對し設立登記の日より起算して八年間を限り每年金三十萬圓を每營業期に割當て補充すべし、但前營業期にれける利益配當は拂込資本額に對し年八分の割合を超過する時は其超過金額は前項の補給金の內より控除す

第四十條　利益配當が拂込資本額に對し年一割の割合を超過する時は其超過金額は先づ之を前補給金の償還に充つべし前項の償還を終へたる時は該超過金額は其半額を特別積立金とすべし

附　則

第四十四條　政府は設立委員を命じ韓國政府の命じたる設立委員と共同して東洋拓殖會社の設立に對する一切の事務を處決せしむ

第四十五條　設立委員は定款を作り政府の認可を受けたる後株主を募集すべし

第四十七條　設立認可ありたる時は設立委員は遲滯なく各株につき第一回の拂込をなさしめ其後直に總會を招集すべし

第四十八條　總會終結後總裁に引渡す

第四十九條　第一期の理事及び幹事は株主總會の選擧に依らず之を任命す

●韓國鐵道の發展

韓國鐵道中の京釜線及馬山線は嚢に三十九年全通したるも速成工事にして線路、設備其他不完全なりしが爲め旅客及荷物の輸送は僅に便乘便載の方法に止め居りたるが該改良工事も目下半ば竣工したるを以て四月一日より營業線として運輸を取扱ふことゝなり統監府鐵道管理局に於ては此の機會に於て大に交通上の便を圖り全線列車時刻を改正する等其他目下種々準備中の由なるが京釜線に於ても現在の起點たる草梁驛より釜山まで一哩間の線路を延長して釜山海岸埋立地に停車場を新設し同驛を起點とする答にて將來日韓船車連絡上に於ける大設備を爲すの第一歩を始めたり今回の改正發着時刻の詳細は各停車場に掲示ある答なるも改正時刻によれば釜山新義州間韓國大幹線の直通列車を始め其他全線に於て列車を増發したるものにして釜山方面に於ては先づ釜山草梁間に一日十數回の列車を運轉して兩地間滊車便に依るの途を開き釜山馬山間に於て新たに一往復の列車を増發し其他三浪津驛に於ける馬山線と京釜線の接續を便ならしめ京城方面に於ては京城仁川間に一往復を増加し一日十一回宛とし內三往復の一時間急行列車を發す尙永登浦龍山に於ける乘換の接續時刻は最も好都合となれり京義線に於ては釜山新義州間の直通列車を運轉する爲め同區間及兼二浦支線に於て一往復宛増發のことゝなり大に輸送力を増加せり此の全線直通列車は韓國縱貫鐵道として當然運轉すべかりしものなるも交通は未だ必ずも其の必要を認むるまでの程度に至らざりし爲め新義州平壤間一日平壤龍山間一日京釜線一日を要し直通旅客の不便尠からず久しく世人の翹望したるものにして今回の改正に依りて全然之れが不便を補ひたるものなり釜山新義州間は約六百哩にして直通列車は京釜線內夜間急行とし全線を廿六時間半を以て達せしむるの計畫なりと云ふ即ち從來の行程よりも實に一日二夜を短縮したるものにして直通旅客は途中宿泊するの時間と費用を省くことを得べく大に便利なるべし而して釜山京城間の晝間急行列車は從來の通り十時間にて運轉せしめ新造食堂合造車を連結するを以て一、二等旅客は食堂室にて會食するの便あるべく又全線直通列車には全區間一二等車を連結し新たに京義線內一等旅客の取扱を爲し本年夏期より更に寢台の使用を開始すべし右兩列車共に伴ひ大に日韓交通上の便に資する處あらんとし過日來帝國鐵道廳と統監府鐵道管理局當事者間に協議する處ありたるが京義及馬山線は內地と連帶運輸開始の義も確定し且つ關釜連絡船も增發することゝなり從來の連結便の外韓國行は下關、門司に於て大阪長崎又は熊本よりの列車を受け午前七時五十分出航し釜山に即日午後六時二十分着釜山驛午後八時發新義州直通列車に接續し日本行は釜山に於て新義州よりの直通列車を受け午前九時二十分出帆し即日午後九時三十分下關に着し大阪、長崎、八代行列車に接續せしむるの計畫にて本航海には會下山丸を充て先以て四月一日下關發より隔日運航を始め多分五月よりは更に連絡船一艘を增加して每日運航し從來の分と共に日韓間一日二回の連絡を見るに至らん如斯日韓間の交通を容易ならしむると同時に韓國政府に於ては平壤新義州に保稅倉庫を新設したるを以て同地着內地發の荷物は京城、仁川大邱着の如く釜山に於ける通關手續を省略して直送し從て從來に比し一層速達することゝなり且荷主自ら着地にて通關手續を爲し得べく殊に今回韓國鐵道の賃金改正に依りて京城及馬山線大貨物賃は京釜線所定の通りに引下げたるを以て通じて著しき低減となり日韓貿易上多大の便を得るに至らん而して從來兩地主要驛相互間に於て發賣し居る割引往復乘車券の外二十人以上の團体に對しては更に團局線共總て乘車賃金を半減する由なれば學生の修學旅行其他團体の視察に最も都合よく殊に韓國に於ては沿線の風光悉く邦人の目に新たにして農業に鑛業に大に我施設を待つもの多かるべく觀光視察を爲さんとせば宜しく此機會を利用すべきなり

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△平康守備隊報告　江原道平康守備隊の下士斥候は三月十六日馬山里（鐵原西北二里）に於て約二十の賊と衝突し之を四散せしむ賊の死二

△積城守備隊報告　京畿道積城守備隊長（以下半小隊）は三月十八日午後三時延平山附近（坡州東北約二里）に於て賊魁許蔿の率ゆる約三十の賊を攻擊し之を潰走せしむ賊の死七傷八鹵獲銃十二彈藥若干

△鎭山守備隊報告　慶尙南道鎭山守備隊の特務曹長以下四名は三月十九日未明於湯に來襲せる約百の賊を交戰六時間にして之を擊退せり賊の死傷二十以上我上等兵一負傷せり

△春川守備隊報告　三月二十日江原道春川守備隊の伊佐軍醫は洪川西北約二里の地にて約三十の賊より狙擊せられ頭部貫通銃創を受け戰死せり賊は三死体を遺し逃走せり

△騎兵聯隊長の報告　同聯隊より派遣せる小坂特務曹長以下二十名の斥候は興龍里（東亞正分一新豐里）に在る賊百名に向て前進し三月十九日朝賊の一部四十名西下里にあるものを攻擊し一名を殺し其餘は潰亂せしめたり又主力は北に走り蹤跡不明我に損害なし此賊は一月上旬北南の西方「ホウソン」附近に出沒せるものなり

●大同會の商務局設置

大同會にては豫て商務局なるものを設置せんとして趣意書及章程起草中なりし處此頃脫稿せるを以て直に印刷に附し不日會員に配せんとの手配中なり

章程概要

一、本會實業部規則により商務局を設け事務所を京城に置き局長以下役員を置くと
一、會員は各自資金を醵金し資本を積立つる事
一、學校を設立し商務を敎育すること一、商其資本に從ふて支社を設くること一、商務に便する機械を製造し又は販賣すること一、商民の室なく依るなき浜隔者街路羅病者又は旅中斃死者等につき夫々救恤埋葬の方法を設くる事一、商民の猶私行一、商民にして官令に違はず長老を詬辱し私債を勒取し猥りに尉葬し人塚を發掘し醉狂毆打又は寡婦を勒取する等の行爲あるべからざる事一、負褓兩商は其名を異にするも共に勤勉相通用して販を興すべき事
一、左右社物品左の如し
左社所管　魚類、甘藿、水鐵、土器、南草、麵子、竹物等
右社所管　金、銀、銅、鐵、布白、假䌷、綿紬宕巾、笠子、各色物貨

●青年會演說會

去る二十一日午後七時青年會場に於て開く聽衆二百餘名九時三十分閉會せり「金力は才智に勝る」の演題にて辯士高永日は何れの時代にも金を貪らぬものはない金あれば天下の事一として成らざるはなし往年日露の關係も金を求めんとする思想より起りたるものにして死生榮辱は此中に含まれてある是に反對して辯士崔相浩は銀合金が丘の如くありとも金ある者は智才なき愚鈍者にして如何程金あるとも何の用に立たず才智を人々に注入すれば國は發達して隆旺に赴き才智能力の多大なるものは金自然之に從ふ云々

小說　絃のみだれ（百二）

永井櫻園

『眞箇に師匠には相濟ませんが、どうぞまあ御厄介序に、大川さんの方を宜からうやうにお能なすつて下さいまし。』
と、勇五郎は絃が痛むらしく、時々顏を蹙める。
『聞に入つたが因果だから、厭だけれど破談は私から爲ますがしかし、此の緣談が破れた以上は、日外旦那が出した三百圓の金子は、直様返す迄で居なさらなきやアなりませんよ、何故と云へば、縫ちやんが最負なればこそ貸された金子で、モウ他人の兒んだからね、極めて途中から休むやうな事では、第一我々よりか寄席で困るからね、縫ちやんが愈よ出ないと極つて了へば、私は私で看板を揚げる意だから、何方になつても管はないけれど、出るなら出る、出ないなら出ないと極めて遣らなきやア席亭が迷惑しますからね、どうか縫ちやんの居所が知れて下れると可いが困ツ了つたね。』
と、思案顏しつゝ、勇五郎が痛さうな顏をするを見て。
『しかし、お前さん、迚外災難でしたね。』
と、始て見舞を云ふ。
『何しろ、一寸ばかりの片が半分の餘、ずくりと立込むだんですから、可なり大きな傷なんですよ、それに血脈を切つたのだから出血が甚くてね。』
と、又顏を蹙める。
『すりやアまあ大變でしたね、腹痛むで撚

まで孕むだ上は、旦那だからッて贔負も何う
『イヤ、モウ緣談が破れるからには、借たも無くて了いますからね。』
金子は返さなきやアならないと思つて居りますゆゑ、若も金子が調はなけりやア店に有ります品物を、殘らず渡し申す覺悟で居りまする。』
『それさ、覺悟なら、明日上つて詫して來ませうよ。』
それは、それとして下季の寄席を極めなきやアならないが、縫ちやん奈何する量見か知ら、モウ上季と云つた所で二日しかないのに……軀が若しくツて出られないか知ら……。』
『なあに貴方、まだ寄席に出られないやうな軀でも無さゝうですから、大丈夫出るでせうよ。』
『だけれども、五月と言へば腹帶を締る月う』
『割合にツキ〳〵と痛みましてね、それに足の裏ですから、歩くに不自由で困ります』
『然うでせうともね、まあ大切になさいまし、では、大川さんの方は事情を打明けて、私から斷り申しますが、金子と云はれたらそれはお返し申しますさ、然ふ言つて置きますよ、そして縫ちやんの居所が知れたら、今夜と云ふ譯にも行きますまいが、どうぞ知れ次第に知らして下さい』
『どうぞまあ、御苦勞ですが大川さんの方を何分にも宜しく願ひます、うしてた金子の方ですが、萬一金子が出來ない節は御約束通り店の品を引取下さるやうに一寸お願ひなすつて下さいまし、縫の居所は、いづれ明日は知れやうと思ひますで、知れ次第にお知せ申します。』
『では、まあ大切になさいまし、お邪魔致しました』

京城新報

韓内閣の更迭を望む

李完用内閣の朝野に信望なきは既に何人も知る所也、殊に伊藤統監の信任厚しと稱せらるゝ農相宋秉畯氏の信望を缺けるは最も甚しとなす、總理李完用氏亦之に次ぐの不信任を受く、現内閣の存在は惟に暴徒蜂起の一原因と認めらるゝ[illegible]

紐育電報

▲スチーブンズの遭難

韓國外部顧問スチーブンス氏は昨日桑港に著し二十四日其旅館に於て馬車より降らんとする際[illegible]非常の重傷を負ひたり[illegible]（二十四日發）

東京電報

▲陸奧丸の沈沒

[illegible]會社汽船陸奧丸は[illegible]にて沈沒し乘客[illegible]名中九分通り溺死せる模樣也

▲昨年の收繭額

[illegible]昨年の收繭[illegible]五萬六千九百六十[illegible]石なり[illegible]七十四萬六千[illegible]九石にて合計三百四十[illegible]

▲拓殖會社案特別委員

衆議院に於ける東洋拓殖株式會社法案委員會は七名の特別調査委員を擧げて審議せしむる事となり野田卯太郎、加藤政之助、小川平吉、安達謙藏、吉植庄一郎、佐々木正藏、河俠德三郎の七氏指名され直ちに秘密會議を開けり（廿三日午後發）

雜報

●副統監兩宮參內

曾禰副統監は岡崎第十三師團長二十六日歸朝に付き國分秘書官を從へ昨日午前十一時參內し皇帝陛下へ謁見午後[illegible]參內し太皇帝陛下へ謁[illegible]上し退出したり

●大臣會議

各大臣は昨日午後三時より統監邸に於て大臣會議を開けり

●參與官會議流會

昨日十一時より參與官會議の爲め各參與官參集せしも開會せず

●韓國に對する來年度豫算

帝國議會の協贊を經て確定したる我政府の韓國に對して支出すべき四十年度追加豫算及び四十一年度豫算歲出の細目は左の如くなりと

四十年度追加豫算韓國に對する歲出

圓		
七〇〇、〇〇〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費（京義線）
二〇〇、〇〇〇	大藏	韓國派遣部隊豫備費（憲兵）
一、七六九、五〇三	同	韓國政府立替金
二、六六九、五〇三	合計	

四十一年度韓國に對する歲出

七、五二二、五八〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費
內譯		
二二四、三八八		總係費
一三六、六九二		京釜線
六、一六六、五〇七		京義線
二六四、九九三		平南線
六一〇、〇〇〇		車輛費
二〇、〇〇〇		改良費
四三三、九四七	同	韓國鐵道收益勘定欠損塡補
九九、四四〇	同	韓國遞信官署新營費
一〇、一五〇	同	同修繕費
一、二二五、四一一	大藏	統監府特設金庫事務取扱費
三一、二〇〇	同	京城、仁川、釜山、元山、城津、咸興、月額各三〇〇圓鏡城月額五〇〇圓
七、二〇〇	同	二支金庫增設見込月額各五〇〇圓
一四六、二五〇	同	理事廳新營費 仁川、元山、理事廳官舍二棟、監獄事務所官舍二棟
三〇、〇〇〇	同	在韓國居留民教育補助
二〇、〇〇〇	同	朝鮮海水產組合補助
一五〇、〇〇〇	同	統監官舍新營費
八四、五〇〇	同	統監府所屬廳舍其他新營費
一四、〇〇〇	同	同修繕費
五、二五九、五八〇	同	韓國政府立替金
三〇〇、〇〇〇	同	韓國森林資金繰入
四、一一一、二〇三	陸軍	軍事費
八一九、八五八	同	憲兵費
五、〇〇〇	同	匪徒鎭定費
六三、三三二	海軍	鎭海防備隊
五〇、一九三	同	永興防備隊
三七、七八四	同	在韓國海軍用地經營費
二〇、四二一、六一八	合計	

●度支部の法令編纂

曩に元財務顧問本部は韓國法規大全を編纂し一般の希望者へも販賣せしが同大全編纂後新法令の發布せられたるもの舊法令の改廢せられたるもの多きを以て度支部に於ては今回新たに法令の編纂をなす事となり編纂委員を撰任して目下調査中なるが此の法令集は曩に編纂したるものとは少しく其の內容、體裁を異にする筈なりと云ふ即ち左の如し

一、名稱は『財務法規類纂』とす
二、法令は度支部所管事務に直接間接關係あるものゝみを集輯す
三、文章は韓文を以てし日本假名を傍書す
四、類別は大要左の如く定む
第一類 公文式　第二類 官制及分課
第三 官規　第四 民刑
第五 會計　第六 租稅
第七 貨幣　第八 農商工
第九 雜
五、體裁は大さ菊版、加除綴とし法規の改廢に伴ひ之を加除し得る樣一件毎に頁を別にす
六、集輯の法令は隆熙二年六月一日現行に依る
七、前項期日以後の制定改廢に係るものは各月一回刊行し之により加除する事とす
八、統監府關係法令にして度支部事務に關係あるものは附錄として集輯添加する事

尙此の編纂は財務官吏の使用に供する目的なるも一般希望者へも頒賣せらるべしと云ふ

●韓海漁業組合の計畫

韓海漁業組合員內田忠吉、小野乙輔、井內義彥の三氏は昨年十月北韓漁業視察のため釜山港を發し咸鏡南北道全岸三百餘海里の視察を完了し歸航の際視察船難破せし事は當時報導し置きたる所なるが今聞く所によれば同氏等は其の後事業計畫上の調査終了したるを以て愈々本年の漁期より元山、新浦、淸津及び豆滿江の附近を根據地とし水產事業に着手すと云ふ因みに內田氏は內地に在る組合員と打合せのため廿四日發歸國せり

●清津稅關支署の設置

度支部に於ては今回咸鏡北道富寧郡清津港に稅關支署を設置することに決し四月一日より其事務を執る旨度支部令を以て發布せり之れと同時に從前の監視所は廢止となりたり

●一圓銀貨通用禁止

本邦一圓銀貨は本邦政府に於て既に通用を禁止し居るも韓國政府に於ては其勅令を以て規定したる形體量目の同一なるものは通用せしめ居りしが近時銀相場の暴落に依り其價格の低下したる一圓銀貨を輸入し通用せしむる者少からざるを以て斯くて通貨の信用を害して延て貨幣制度を紊亂するに至れば無智の人民等にして其形体の補助貨より大なるに惑亂して之を授受し不時の損失を招くなしとせざるを以て之れが通用を禁することを一般人民に周知せしむべしとの旨度支部より十三道に向ひ訓令したり

●駐韓兵の上陸

駐韓交替兵の來韓することは別項の如くなるが本日仁川に入港する御用船咸興丸にて八百四十六名上陸する筈なりと聞く

●暴徒の密偵を逮ふ（京城に於て）

西大門外松井洞の前侍衛二大隊の兵丁尹壽丁（二十）は昨年七月同隊解隊後八月の騷擾に加はりたる迄は分明せしも爾來行衛不明にて暴徒に加入せしものならんとの嫌疑ありし者なるが去る二十三日銅峴分署管內時谷の步行客李喜俊方に潜伏し居るを發見し逮捕して取調べて見ると彼は江原道鐵原富哥山に於ける暴徒の首魁金奎植の幕下に屬し各所に於て暴動し去る十二日より金の命令を含み武器調達並に京城の事情密偵の爲めに當地に入り込み居る由を白狀せり

●賊將を擒にす

大邱警察署より派遣中の巡査隊一行は本月十五日青松郡に於て故鄭煥直副將朱鳴皓、李履東の二名を生擒せり

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△光州守備隊報告　今村中尉以下十名並に巡査隊九名は三月九日午前一時朴山（位置不明光州東北約二里半下朴山ならん）に於て約十名の賊を擊破し之を急追し上朴山（朴山北方約千米突）に於て更に約三十の賊に出會し全く之を潰亂せしめたり賊の死五捕虜一負傷十一を下らず鹵獲品火繩銃二彈藥衣類其他雜品多數我に損害なし

△瑞興守備隊報告　黃海道瑞興守備隊の討伐隊は三月十二日猪鼾里（新溪南方四里）に於て賊二名を射殺せり

△騎兵中隊の報告　派遣騎兵第四中隊の一部は三月十四日忠淸北道錦何洞（淸州東方約五里）にて賊一を殪せり

△慈仁守備隊報告　慶尙北道慈仁守備隊の下士以下六名は三月十四日午後五時孔岩（慶州西北約四里）に於て十餘名の賊を奇襲し其二を殪し之を追擊し十五日午後八時淸道九龍（慈仁東方約四里）にて更に他の三十餘の賊群を夜襲し其三を殪せり賊は彥陽及阿化洞（慶州西北約四里）二方向に退却せしものゝ如し鹵獲品火繩銃二

△騎兵中隊報告　派遣騎兵第一中隊の一部隊は三月十六日午前五時全羅南道綾州（光州南方約五里）の西南三里虎岩にて賊約四十を攻擊し其十四を殪す鹵獲品銃十三、刀二、牛馬各一我隨行巡査一負傷す、又同第四中隊の一部は三月十六日公州西南約九里靑陽郡上田面龍舟洞に於て約十五名の賊を襲擊し其五を殪せり鹵獲銃七雜品若干

△慶州守備隊報告　慶尙北道慶州守備隊の斥候八名は三月十七日午前九時安心洞（慶州西北約九里）に於て約四十の賊を攻擊し交戰二時間の後之を北方山間に潰亂せしめたり死九捕虜二我に損害なし

△慶尙北道の賊死數　二月十五日より同二十九日に亘り慶尙北道北部討伐隊は賊二百四十二を殪し銃器四十三、鎗四十二彈藥其他雜品多數を鹵獲す

△光州守備隊報告　討伐隊は三月二十一日長城にある派遣騎兵隊の一部と協力し光州西北方五里の廣谷附近に於て金泰元の指揮する約五十の賊を攻擊し其五を殪し數名を傷け我兵二負傷す火繩銃四其他雜品若干を鹵獲す

△韓國近衛兵の復歸　賊徒討伐の嚮導、密偵等の爲め客歲十一月上旬以來北部守備管區司令官の隸下に屬せしめたる韓國近衛步兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

●巡査隊の行動

目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大伏面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引卒せし吳明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下にして掠奪品處分を擔當せる金錫三なる者を逮捕し掠奪牛一頭火繩銃二挺を押收せり因みに同地方の暴徒は守備隊の周密なる配置と巡査隊の密偵と相俟ちて殆んど大集團をなすの餘地なく今や暴徒に強制加入せしめられたる者は窃かに歸宅しつゝあるが如し然れども首魁を殪すに非ざれば地方の靜謐を望む可らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むると共に一般に向ひ歸順の勸誘方說示しつゝありと云ふ

●鐵道賃金の回答

來る四月一日より實施すべき鐵道賃金引上に對し京城日本人商業會議所にては曩に役員會の決議により二月三日付を以て副統監及鐵道管理局長に宛て陳情書を提出したるが今回石川鐵道管理局長官代理より秋吉會頭へ向け左の如く回答ありたり

來る四月一日より實施すべき當局線旅客賃金に對し本月三日付陳情書を以て縷々御來意の趣了承致候右は當局に於ても至極御同感に有之京仁間往復割引劵に對する通用期間は既に三日間と制定發表致候に付御承知の事と存候而して京仁間割引區間に永登浦驛の追加及其他の近距離に於ける割引は改正賃金實施之曉其成績如何に依り漸次之が實行を期する豫定に有之候間御承知相成度此段御回答申上候也

●開港紀念と民會

開港二十五年祭に就き本日午後より民團役所樓上に於て有志總會を開き發起人に於て起草せし方法を以つて奉行すべきや否やを附議し異議なき時は直ちに會長以下の役員を選定する筈なりと云ふ

●會議所の豫算會議

京城日本人商業會議所にては四十一年度歲入出豫算議定の件に付昨日該樓上に於て總會を開けり

●驛長會議

四月一日より汽車時間改正及直通列車の開通等に關し太田南大門間及南大門仁川間の各驛長は昨日午後二時より南大門運輸課に於て協議會を開けり

●市價暴落と鑑定價格

昨年銀價の崩落以來對淸貿易に密接の關係を有せる牛皮、紡績、燐寸、大豆其他の[illegible]地相場は日を逐ふて下落し從つて仁川に於ける市價は近年稀有の暴落を來せり然るに此等輸出入品に對する稅關の鑑定價格は下落前の夫れと同一なるを以つて之れが更正を懇願する者尠からざりしが殊に牛皮の如きは十斤廻り五十圓より六十圓臺を覗きつゝありし時代の査定額三十八圓を市價三十圓臺を切れんとする昨今に襲用し寸毫も更むる處なきを以つて斯業者は非常なる打擊を蒙むり居れり元來稅關の鑑定額なるものは或る期間に於ける平均市價を標準として規定せるものにして市況の繁閑、市價の昂低等に依りて其都度變換すべき性質のものに非ざるも其差昨今の如く甚しく且つ仁川斯業者は昨年來の暴落に尠からざる損失を招き目下之れが恢復に餘念なきの折柄なれば稅關當事者に於ても大に考ふる所あるべき筈なるに偶々商人の懇談する者あるも規定を楯に執りて木で鼻を縛りたるが如き挨拶を爲すは餘りに冷酷なりなど鑑定官の事情に對し懼焉たらざる者頗る多し然れども今日の場合兎や角荒立つる時は他日市價恢復の際反つて從前より以上の鑑定額を强ひらるゝの虞れあれば寧ろ默々理を言はざるに如かずと其儘泣き寢入の姿にありしが其後市價益々下落して恢復の到底望むべからざるに至りたれば彼等は遂に意を決して鑑定官に具陳する處ありたり然るに稅關當事者に於ても獨り牛皮に限らず重なる輸出入品に對しては多大の注意を拂ひ前記諸品の暴落と現行鑑定價格との均衡に就て種々審議中なりしに付取不敢鑑定額を二圓落して三十六圓となし尚は調査完成の上は相等の下引けを爲すことゝして辛く當業者を納得せしめたり而して一方綿糸其他に就ても審議頗る急ぎつゝありしに不圖も綿糸商の申出により京城南大なる稅關派出所に於ける鑑定額を仁川の夫れと著しき差の存するを知り倉庫係員を急派して諸般の打合せを爲し且つ京仁兩所の鑑定額を一定すべく協議せしめたるが其後京城に於ては依然更めざりしかば茲に仁川斯業者一同は奮然蹶起して其不當を鳴し一方商業會議へ建白書を提出して交渉方を依賴する事となれるが尚ほ詳細は他日報導する所あるべし

●瓦斯浮標の新設

從來仁川港內の航路を標識するためには小月尾島及八尾島の二個所に燈臺を建設しあるも小月尾島の東南に當りて淺瀨ある爲尙多少の不便を感ずるものあるを以て茲に仁川燈臺局にては右淺瀨の位置に瓦斯浮標設計に着手したるが過日漸く完成したる由なれば近々中に點火さるべしと云ふ

●密輸入船の捕獲

仁川稅關の小蒸汽デーシー號は過日羅津浦に巡邏中なりしが一昨北清より鹽二百石を積載せる支那船二隻を捕獲して仁川に歸港せり

●井上雅二氏出發

宮內府書記官井上雅二氏本日午前八時五十分南大門發にて本邦へ向け出發されたり

●金山書記官の一週年

故金山尙志氏の一週年を期とし生前同氏に縁故深き諸氏發起にて應分の醵金を爲し同氏の油繪肖像を調製して統監府に掲げ永く紀念することゝし尙追悼會をも營み殘餘金は弔慰金として遺族に寄贈する計畫なるが伊藤統監は該擧に賛同せられ特に金二百圓の寄附あり其他內地にては貴衆兩院議員中の知人慈善團体の貴婦人及故舊友の者にて贊同醵金するもの多く又韓國にても官民の間に知己多かりし同氏の事とて應分の醵金をなすもの多き[illegible]なりと

●交替兵着期

來る二十八日仁川に入港すべき吉林丸にて交替兵〇〇〇〇名來る三十日に入港すべき咸興丸にて又同數の交替兵上陸する筈なりと云ふ

●近事片々

▲伊公の歸る〳〵も久しいものだ月末出發か[illegible]と古谷秘書の通信今度は懸引無に歸るか[illegible]
▲歸る〳〵はそれや噓だんべい矢つ張[illegible]ものと京童伊公の歸任期を諷嘲す如是我聞
▲拓殖總裁候補何ぞ多きや目賀田平田[illegible]小松原宇佐川山根とまだ段々現出せん[illegible]
▲大阪朝日論ずらく統監政治の遣口次[illegible]では拓殖會社設置の必要なしと然り同感[illegible]
▲亦曰く統監政治は法政格式のみ膠着して[illegible]樂む故に斯る會社の必要ありと適切痛快[illegible]
▲至く統監府に殖民省の資格を備へしめ[illegible]ば殊更會社を設る必要なし[illegible]統監政治[illegible]
▲總裁撰擇之が爲に肝要總裁は[illegible]朗西を兼たる快腕の手腕を揮はざる可らず
▲大朝曰く韓國てふ一破屋を維持するの不利益永く忍ぶ可らずと之れ祖國の輿論[illegible]
▲伊公の眼中祖國の民論も何もなし乃公胸中方寸ありと[illegible]衆生は度し難し[illegible]
▲露政府浦潮港に韓字新聞を發行すとのは恐らく異赤の嘘ならむ是蠹化韓人の外[illegible]
▲蠹化韓人露政府の援護あるものゝ如く見せ掛排日思想を煽るが爲本部或は京城[illegible]
▲京城在住邦人貞包某井上某漢江下流に出獵し暴徒に慘殺せらると何ぞ物騷な[illegible]
▲帝都附近にも暴徒跋扈す現內閣統監府之を看過せむとするか偖も齒癢く侍るかな
▲米艦招待の報を齎して高平駐米大使[illegible]領に接見す而も日米國交の敦厚を謳ふ[illegible]
▲國交敦厚の裏面には排日熱起り[illegible]ボイコットの奧に獨米あるの說油斷大敵[illegible]
▲[illegible]國決鬪流行何れも[illegible]の將[illegible]壯士戶夫此次は誰か[illegible]
▲犬養木堂下田歌子を西大后の顧問とせば尤も妙なりと然り歌子女史政治の才あり
▲歌子女史節操は何人も疑ふ亦其政略的手腕ある何人も認識す現に角女事の一偉彩[illegible]
▲森律して捕らぬ狸の皮を賴で六十圓取られ直指た馬鹿者東京にあり吉田某と云大工

●水雷艇の入港

昨日午後四時守永海軍少佐の率ゆる第十水雷艇隊第三十九、第四十、第四十一、第四十二の四隻は仁川に入港したり其用向は詳かならざれど[illegible]に向ふ由なり

●仁川の外國貿易額

仁川に於ける本月中旬の輸出入額は輸出七萬二千百六十三圓輸入二十六萬二千百八十九圓合計三十三萬四千三百五十七圓、輸入超過十九萬二[illegible]一圓にして輸出品中重なるものは米二萬九千三百八十六圓、大豆及び小豆三萬三千百六十七圓、生牛五百六十圓、輸入品の重なるものは食鹽千六十七圓、清酒二千五十圓、打綿六十三圓、日本木綿千三百四圓、煙草三千七百三十一圓、石油七十五圓、マッチ三千六百六十四圓、砂糖及び精糖四千八百十四圓、石炭三千六百五十四圓、綿織糸十萬六百六圓、金銀貨及び地金の輸出は百五十圓、同輸入は六萬千八百二圓なりし

●御用船の積荷

本朝仁川に入港すべき[illegible]御用船大禮丸は安東縣よりの軍需品百三十一個を仁川陸軍運輸部に陸揚し直に軍需品五個馬一頭を積みて宇品に向ふ筈又本日出帆の筑後川丸は同部より群山守備隊行軍需品六個を積載して群山に向ふ筈

●韓米の大連輸出

大阪商船の群山丸は白米三千五百を積みて大連に向ひ大連丸は白米二千を積載して阪神に向ひたり

△氏野傳三郎（大邱理事官）　山本旅館へ
△澁本紫吉（學部書記官）夫妻とも浦尾旅館へ
△[illegible]（陸軍少佐）　[illegible]館へ
△[illegible]（陸軍一等主計）　同上
△[illegible]　山本旅館へ

花の根ざし

小說（六）　栗樹廼主人

花咲次郎夫婦も、横濱老夫婦も共に恩津に移轉した、家屋を適當の所に建築するまで婆敬樹の離家を借受ることゝした、すべて一落づきしたので、次郎は種牛や種々なることで日本に行くことゝなり、靜子のことは老夫婦に能く賴み置きて出發した、靜子は名殘が惜れぬわけでもない、親切なる老夫婦の傍に居ることなればさほどに悲しくもない、次郎も亦同様である、

四月以後の韓國鐵道

本年四月一日より當局全線列車運轉時刻を改正し其の他京義、馬山線及釜山驛營業開始等左の通り實施いたし候

一　營業開始

從來の便乘線たりし京義及馬山線は京釜線同樣營業を開始し釜山に停車場を設け

一　釜山驛新設

一　連帶運輸

京義及馬山線各驛と帝國鐵道社主要驛相互間に於ける連帶直通輸送を開始す

一　保稅倉庫新設

一　列車時刻

▲釜山京城間急行（今回新選したる食堂車を連結し且つ乘客案内專務車掌及列車給仕を乘務せしむ）

北行	釜山發	前一〇、三〇	南行	仁川發（永登浦乘換）	
	南大門着	後八、三〇		南大門發	
	仁川着（永登浦乘換）	同九、三〇		釜山着	

▲釜山新義州間直通（全線一、二等寢臺車及列車給仕を乘務せしむ）

北行	釜山發	前八、〇〇	南行	新義州發	
	仁川發（永登浦乘換）	翌前五、五〇		平壤發	
	南大門發	同七、一〇		仁川發（永登浦乘換）	
	平壤發	後三、四〇		南大門發	
	新義州着	同一〇、三〇		釜山着	

▲標準時　四月一日より各列車は總て韓國標準時に依り運轉いたし候　韓國標準時は日本より遲るゝこと三十分日本の正午は韓國の十一時三十分に當る

一　關釜連絡　右の外連絡船は帝國鐵道線に於て新たに一艘を增加し

一　乘車賃金割引

▲二十人以上の團体　當局線共　賃金半減

▲割引往復乘車券　同　往復二割

右の外當局線内のみの御旅行に就ては定期、回數乘車券、京仁間特別割引券及遊覽券其他取扱上に就ては各停車場に就き御承知被下度候

明治四十一年四月

統監府鐵道管理局

●新町の花　靑帝九皐に威を赫かして人より物言ふ花を眺むる浮かれ男もぽつ〳〵……

藝名 花蝶	横濱市石川町六丁目無職田中房三長女　つる（明治二十三年六月九日生）	三ヶ年三百五十圓	
藝名 白梅	同市末吉町一丁目無職伊澤金三郎養女　はつ（明治十六年二月十一日生）	三ヶ年貳百五拾圓	
藝名 櫻州	同市上野町左官職山縣熊吉長女　つゆ（明治二十一年十二月三十一日生）	三ヶ年二百五拾圓	
藝名 桃葉	神奈川縣橘樹郡中原村農宮内源次郎妹　とめ（明治十九年十月二十日生）	三ヶ年三百八拾圓	
藝名 春香	神奈川縣横須賀市字山王戶主　山野なみ（明治二十一年一月一日生）	三ヶ年二百五十圓	
藝名 錦糸	横濱市神奈川町石工職原田彌吉長女　まつ（明治十八年七月十九日生）	三ヶ年二百五十圓	
藝名 紅梅	神奈川縣鎌倉郡中川村農小倉三太長女　きん（明治二十三年一月十五日生）	三ヶ年三百圓	
藝名 梅香	神奈川縣高座郡小田村櫻井幾次郎三女　はま（明治十九年六月廿二日生）	三ヶ年二百七十圓	

因にまつは先きに京城樓にて酌婦たりし者なり

開店御披露

會席御料理

すし、茶わんむし

今般新築落成仕候に付本月十日より開業仕候間續々御光來被下度奉願候

京城南山町三丁目

すし芳

營業科目

土地家屋鑛山山林賣買貸借ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量製圖應依頼
灌漑排水事業設計應依頼
土地整理並丈量應依頼
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋登記證明願賣買手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する圖書雜誌閲覽
韓國に關する非賣出版書閲覽
韓國に關する本社調査書類閲覽
商品依託特約代理店ノ仲介

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
▲弊社は各方面に渉り各事項を調査す

本社 京城永樂町一丁目八番戸假事務所

京城仲介社

支社

東京	東京麴町區富士見町 伊藤豊次郎
大阪	尼ヶ崎字宮町 由比昌太郎
仁川	仁川新町一丁目 遠藤喜一平
釜山	釜山入江町一丁目 加納佐一
木浦	木浦山手通三丁目 谷垣嘉市
鎭南浦	鎭南浦西二丁目 古田稲甫
開城	開城西部 今福又三
水原	水原南門内 川口直三郎
元山	元山居留地 菅鶴平
鏡城	鏡城北門内 菅鶴平支店
平壤	平壤大和町 佐久間賢次郎
大邱	大邱東門外 稲本新作
龍山	龍山元町 吉岡一臣

營業科目

活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
罫帳簿
製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ益〻從前ノ如ク盛ニ新築落成仕候ニ付倍舊ノ御愛顧ヲ奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

最新建築材料品種々

ラバイド
金屬打出 モナーク瓦
アスハルト並に工事
リサイト
一名防火ペンキ
アスフハルトフエルト
穴原木材防腐劑
米國製 鹽紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區五郎兵衛町（特電話本局九四三）
支店 大阪西區靱中通一丁目（特電話西八九四）
同 横須賀市大瀧町（電話一一一）
同 大連市伊勢町十一號地
同 韓國京城大和町一丁目
出張所 米國紐育フロントン街九六

合資會社

九原商會

開業御披露

桃山の花の盛りとなれる其中にも殊に本圖は京阪の本場の美人揃ひにて評判も高き腕そろいに御座います

和歌吉　和歌勇　和歌千代　和歌芳
和浦　和歌之助　和歌駒　和歌葉

龍山桃山遊廓

和歌の家支店

（電話一六三番）

工事請負廣告

一 西小門外税關官舍敷地排水工事
一 同 上板塀煉瓦塀其他工事

右一口として競爭入札に附す請負望の者は隆熙二年四月四日までに當部に就き入札人心得書契約書案工事仕様書及圖面熟覽の上來る四月六日午前十一時當部に出頭入札すべし即時開札す

入札保證金は各自見積價格の百分の五以上

此契約は臨時税關工事部長坂出鳴海擔任す

隆熙二年三月二十一日

臨時税關工事部

歐米建築材料直輸入

○マルソイド便利瓦
○土居葺用 P&Bフエルト
○防濕防寒 P&B建築用紙
○アスフハルト各種
○銅鉄亞鉛 打出天井中心飾 蛇腹
○佛國製壁紙各種
○室内廊下敷物各種
○アルボリー石鹼卸

本店 東京銀座三丁目
京城永樂町二丁目

東京藤原京城支店

電話九五九番

支店 神戸北長狹通四丁目
同 清國大連伊勢町九號地

御寫筋仕入品

寒さ暑さも彼岸まで……新柄友禪（廿五錢より四十錢）珍色襦子（片帶二圓より四圓）東京双子（三圓以内）尾州銘仙（五圓前後）新米澤（同上）新御召（七八圓より十圓位）大將裏地（八十五錢より一圓五十錢位）美人裏地（同上）久留米絣（二圓五十錢より九圓位）久留米縞（一圓五十錢より二圓五六十錢位）伊豫絣（二圓餘より三圓三十錢）中國絣（三圓内外）唐更紗（九錢より二十五錢）天鵞絨（三十三錢）本ネル（四十五錢）綿ネル（十錢より二十五錢）荒ネル純毛（三十八錢）同じく混綿（十七八錢より三十錢位）其他種々新荷入着……春袷なりとも單衣なりとも 驅直なしのまからず屋

前金御送附の外は代金引換小包郵便にて差上可申候

京城本町三丁目

和洋 丸一反物店

（電話六三五番）

貸賣せずの即金取引店

御徳用大安物

▲電車割引券發賣
▲電車割引券改正
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正

四月一日より及龍山電車停車場にて發賣すり鐘路本社六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし

四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす

四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓美電氣會社

○大割引販賣

中折帽子、靴下各種
ブローチ及ピン
キヤラコ各種
小供洋服各種

長谷川町一の四五

和加奈商會

本店 東京市日本橋區兜町

内地支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、呉、伏見、大阪西區、東京深川、大阪町
韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、鏡城
清國出張所 安東縣

株式會社

第一銀行京城支店

電話番號　營業部 一一番　同 當直用 三一番　營業部 三一番
國庫部用度係 六一番　分析所 六二番

總支配人 市原盛宏
支配人 三島太郎
國庫支配人 竹山純平
副支配人 木村雄次

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通（電話四二〇）

株式會社

十八銀行京城支店

本店 長崎市築町
支店出張所 京城、仁川、釜山、群山、木浦、元山、龍山、鎭南浦
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

十八銀行代理店 長崎貯蓄銀行京城支店

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

爲替取組先 山陽道、東海道、北陸道、山陰道、南海道、西海道、東山道、北海道、韓國、清國 二十七ヶ所 十三ヶ所 七ヶ所 二十五ヶ所 五ヶ所 二ヶ所 二十八ヶ所 十ヶ所 十三ヶ所 三ヶ所 九ヶ所 一ヶ所

株式會社

第五十八銀行京城支店

（電話五八番）

齒科全般の治療

米國最新式義齒

京城本町六丁目（藪そば横町）

米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

●大勉強廣告●

○うなぎ蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり

本町座前大和橋向

きく紋

電話九百五十四番

善隣商業學校夜學專修科

生徒募集

●第一學年生五十名●出願期日四月十二日限
●志願者心得入用のものは本校に申出べし

京城明治町壹丁目

一堅牢なる中古荷車安價放賣
右多數着荷仕り候に付多少共御用命の程願上候

京城南大門（千葉館前）

源 小宮山運送支店

新町驛上る

（電話一二九番）

源 同本店

每月廿日 一割引大賣出し

名物 一頭八饅頭
一名一口饅頭 一錢に四つ

御菓子製造大勉強

京城本町六丁目 一二八堂

本店 仁川理事廳通（電話三二番）

原金旅館

支店 京城南山町（電話一〇七番）

會席御料理 並に仕出し

京城本町二丁目

曙亭

前代議士 辯護士 大久保雅彦

京城旭町二丁目

電話 八三九番

日本郵船會社 大阪商船會社 出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店

電話三九番

京城南大門通 巴商店

電話三〇番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月十二日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 三月廿五日 後三時出
●大連、大沽行 高砂丸 四月九日 後一時出 山東丸 三月卅一日 後十時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 三月 日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨ號 三月廿二日 後三時出
●釜山出帆、元山行 弘前丸 三月 日